

クラウド型コミュニケーションツールを用いた協働による プレゼン教材開発と Web 公開

○後藤匡敬

（熊本大学教育学部附属特別支援学校）

KEY WORDS: クラウド 協働 教材開発

目的

学校の授業では、Microsoft PowerPoint に代表されるプレゼンテーションソフトで作成された教材（以下、プレゼン教材）が使われることが多い。筆者は、知的障害教育での活用を想定したプレゼン教材を作成し、「Teach U〜特別支援教育のためのプレゼン教材サイト〜」として Web 公開しており、約 230 種類の教材をほぼ一人で開発してきた。Teach U に関心を抱いた全国の教員から、教材のアイデアが集まるようになったが、制作はほぼ一人である。そこで本研究では、2018、2019 年度の筆者の科研費採択の研究（奨励研究）を基盤とし、児童生徒の実態に合わせてカスタマイズが可能なプレゼンテーション教材の効率的な開発及び普及を目的とする。特に、一人一人の教育的ニーズの異なる知的障害教育の児童生徒向けの教材を中心に、SNS（Social Network Service）や「Slack」「Microsoft Teams」のようなクラウド型のコミュニケーションツールを活用して、全国の教材作成者と協働のためのチームを組成し、効率的な情報共有の基、物理的距離に依らない協働型の教材開発の実現可能性を探る。

作った教材は、筆者がこれまでの研究で開発し Web 公開している「Teach U〜特別支援教育のためのプレゼン教材サイト〜」（<https://musashi.educ.kumamoto-u.ac.jp/>）で公開することで、全国の学校教育の教材充実の一助とした。

方法

(1) 合理的な協働チームの生成方法の検討：

SNS やチームコミュニケーションツールのうち、より効果的なツールの組み合わせを検討する。協働チームは、これまで教材の情報の提供を受けた人を中心に呼びかけ、2021 年夏までにチームを生成する。

(2) 協働チームによる教材の開発：

生成した協働チームのメンバーと、プレゼン教材の効率的な開発を実践し、集合知を生み出すシステムを模索する。

(3) 開発教材の Web 公開：

プレゼン教材に加え、プレゼン教材の操作方法に関する解説動画ファイルを作成し、Web 公開を行う。具体的な使用方法の解説や、タブレット端末の操作解説等、プレゼン教材の円滑な利用を助ける動画をはじめ、授業での利用を想定した動画教材の開発も進める。

これまでの成果

「Teach U」のコンテンツは、教科・領域別のプレゼン教材が 136 種、コピー&ペーストで機能拡張できる「TU Parts」が 84 種、解説動画が 18 種、YouTube 動画が 29 種あり（いずれも 2021 年 5 月 26 日時点）、継続的に作成している。

協働チームを生成するため、Teach U のサイト内で 2021 年 5 月 2 日に呼びかけ始めた。

まずは共に教材を作成する協働チームのメンバーを募る過程で、その意図と役割が伝わるように、メンバーのこと

を「Teach U サポーター」と名付けた。また、協働チームに携わる役割を分かりやすく伝えるため、Teach U サポーターの各役割に名称を付けた。以下は、その名称である。

表 1 TeachU サポーターの役割一覧

役割名	内容
①スライドデザイナー	PowerPoint 教材を形にする
②解説動画クリエイター	できあがった PowerPoint 教材の操作を解説動画にする
③絵コンテ職人	PowerPoint 教材の構成を考える
④Web サイト管理人	Teach U の Web サイトを運営する
⑤イラストレーター	Teach U の教材に使用するイラストを作る
⑥モニター	授業で活用した感想等をフィードバックする

加えて、Teach U サポーターの概念図を作り、協働チームの役割のイメージを描きやすいようにした。

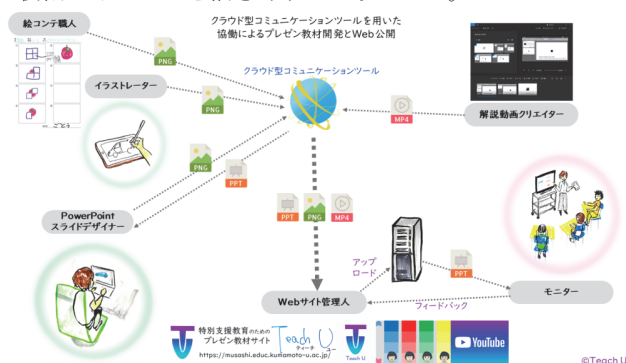


図 1 TeachU サポーター 概念図

Teach U サポーターは 2021 年 5 月 26 日の時点で、現職教員 2 人、教職大学院院生 3 人の参加がある。

今後の展開

方法(1)(2)(3)を同時並行的に進め、Web サイトにて教材を公開していく。

文献・後藤匡敬：特別支援教育プレゼン教材サイト「Teach U」のオンライン研修プログラムの開発及びコンテンツの充実：日本特殊教育学会第 58 回大会（2020 福岡大会・Web 開催）プログラム集・発表論文集、ポスター発表 P3-36

・後藤匡敬：熊本大学教育学部附属特別支援学校第 32 回研究発表会(2018 年度)研究成果、

<https://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/~futoku/>

付記 本研究は JSPS 科研費（JP21H04005）の助成を受けている。

(GOTO Masataka)